

令和4年度 自己評価(事業者)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			石狩振興局の指導の下、必要なスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	100			利用者様の実情に合わせて、適切な人数配置に努めて参ります
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75	25		事業所内には、肢体不自由のお子様向けのバリアフリーはありませんが、施設管理には、今後も務めて参ります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100			PDCAサイクルは意識していますが、今後もより効率的に、効果的に療育できるよう努めて参ります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			開設後初めての自己評価になりますが、今後の療育の改善と参考とさせていただきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	50	50		事業所の様子について、保護者様へホームページの更新頻度をあげていきたいと思っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100		現在のところ、第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて、第三者による外部評価の検討を致します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			職員の資質向上のため、事業所内研修は進めております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			インフォーマルアセスメントを中心に実施し、必要に応じて、簡易検査等を取り入れております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			今後は、総合的評価のみならず、下位項目についてもスタッフ、保護者様との共通理解に努めて参りたいと考えております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよ工夫しているか	100			<p>一見すると同じような活動に見えますが、目標や内容を徐々に変えて実施しています。</p> <p>例えば、「調理：お味噌汁づくり」では、初めは、スタッフの全面的支援を受けながらつくる→自分で準備してからつくる→片付けも含めて一人で行うなど。</p> <p>保護者様にもプロセスが分かりやすいようお知らせしていきたいと思います。</p>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割を行い、気付いた点等を共有しているか	100			打ち合わせを実施していますが、今後も効率的な打ち合わせに努めて参ります。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75	25		今後も、記録の効率的な残し方の工夫に努めてます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			必要に応じて、支援方法や内容の見直しを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100			
関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	100			より効果的な療育を実施するために、参画スタッフの人選に努めて参ります。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	100			利用者様の共通理解について、学校様の協力の下情報共有をさせて頂いています。今後も、よりきめ細かな共通理解に努めて参ります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100			必要なケアについては保護者と綿密に連携をとりながら実施するよう努めて参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			可能な限り、情報共有、相互理解に努めて参ります。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移住する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100	現時点では、学校卒業後の他事業所への移行はありませんが、移行の際には、丁寧な情報提供に努めていきたい。
	㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	50	50		児童発達支援センターや発達障害者支援センターをはじめ、他機関、専門機関と連携していきたいと考えております。
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100			障害のない子どもとの積極的な関わりはありませんが、地域の公共施設（公園や図書館など）の利用や、ミニイベント時に利用者の兄弟姉妹が来所し一緒に活動することもあります。
	㉓	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100			地域の自立支援協議会と連携し、今後も地域に根付いた放課後等デイサービスを目指していきたいと考えております。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			保護者様との共通理解に努めていますが、より一層、共通理解が取れるよう努めて参ります。
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100			保護者の希望に応じて、面談を実施しています。対面での面談が難しい場合には、ZOOMでの実施にも対応しております。
保護者への説明責任等	㉖	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			今後もより一層、丁寧な説明に努めて参ります。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			当事業所を利用していない方に向けても子育て、発達障害に関する相談を受付けています。多くの方が気軽に相談できるよう、今後も務めて参ります。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	50	25	父母の会は、現時点では実施しておりませんが、保護者様のニーズがあれば、課題別研修会を実施することも検討します。